

名古屋大学大学院多元数理科学研究科
平成22年度教育・研究活動
年次報告書

平成23年11月

名古屋大学大学院多元数理科学研究科

(5) 授業時間割

平成22年度前期時間割 (数理学科)

		1年生	2年生	3年生	4年生
月	1	数学展望I (洞)			
	2	数学演習I (宮地・高井・豊田・野田・南出)			数理物理学III (永尾)
	3			解析学要論I (伊師)	数理科学展望III (伊山・藤原・ヘッセルホルト)
	4				
火	1			幾何学要論I (小林亮)	代数学統論 (齊藤)
	2				
	3		現代数学基礎A I (行者)		代数学III (橋本)
	4				幾何学III (川村)
水	1		現代数学基礎B I (佐藤周)	解析学要論II (津川)	数理解析・計算機数学II (内藤・久保)
	2				
	3				
	4				
木	1		現代数学基礎C I (納谷)	代数学要論I (吉田)	解析学統論 (菱田)
	2				
	3		複素関数論 (糸) ※全学教育科目	数学演習VII・VIII	解析学I (青本)
	4			(稲浜・佐藤猛)	確率論III (洞)
金	1			数学演習IX・X	幾何学統論 (森吉)
	2			(笹原・古庄)	
	3		数学演習III・IV		数理解析・計算機数学特別講義I
	4		(川平・笹平・森山)		(古結・田中・村松)

平成22年度後期時間割（数理学科）

		1年生	2年生	3年生	4年生
月	1			数理科学展望 I	
	2			(山上・伊藤・ガリグ)	代数学Ⅳ (林)
	3			現代数学研究 (金井)	
	4				
火	1			代数学要論Ⅱ (岡田)	
	2				確率論Ⅳ (稲浜)
	3		現代数学基礎Ⅲ (楯)		
	4				数理科学展望Ⅳ (ガイサ・菱田・中西)
水	1		現代数学基礎Ⅱ (藤原)	数理解析・計算機数学Ⅰ	数理解析・計算機数学Ⅲ (ガリグ)
	2	数学演習Ⅱ (宮地・高井・豊田・野田・南出)		(久保・内藤・笹原)	
	3				
	4				
木	1		計算数学基礎 (粟田・佐藤猛)	解析学要論Ⅲ (杉本)	
	2				幾何学Ⅳ (納谷)
	3	数学展望Ⅱ (菅野)	現代数学基礎Ⅱ (金銅)		解析学Ⅱ (津川)
	4				
金	1		数学演習Ⅴ・Ⅵ	幾何学要論Ⅱ (太田)	
	2		(佐藤周・長尾・松本詔)		数理物理学Ⅳ (南)
	3		現代数学基礎Ⅱ (永尾)		数理解析・計算機数学特別講義Ⅱ
	4				(中村・佐藤・波多野)

(4) 授業時間割

平成22年度前期時間割 (大学院)

		4年生と共通	大学院のみ	
月	1			
	2	数理物理学概論Ⅲ (永尾)	代数幾何学特論Ⅰ (伊藤)	
	3	数理科学展望Ⅰ (伊山・藤原・ヘッセルホルト)		
	4			
火	1	代数学概論Ⅰ (齊藤)		
	2			
	3	代数学概論Ⅲ (橋本)		
	4	幾何学概論Ⅲ (川村)		
水	1	数理解析・計算機数学概論ⅠⅠ		
	2	(内藤・久保)	代数学特論Ⅱ (ガイサ)	複素解析特論Ⅱ (大沢)
	3		予備テスト基礎演習 (伊師・中西)	
	4			
木	1	解析学概論Ⅰ (菱田)		
	2			
	3	解析学概論Ⅲ (青本)		
	4	確率論概論Ⅲ (洞)		
金	1	幾何学概論Ⅰ (森吉)		
	2			
	3	社会数理概論Ⅰ		
	4	(古結・田中・村松)		

平成22年度後期時間割（大学院）

		4年生と共通	大学院のみ
月	1		
	2	代数学概論Ⅳ（林）	
	3		代数学特論Ⅰ（古庄）
	4		
火	1		
	2	確率論概論Ⅳ（稲浜）	幾何学特論Ⅰ（太田）
	3		解析学特論Ⅰ（青本）
	4	数理科学展望Ⅱ(ガイサ・菱田・中西)	
水	1	数理解析・計算機数学概論Ⅲ	
	2	（ガリグ）	
	3		
	4		
木	1		
	2	幾何学概論Ⅳ（納谷）	
	3	解析学概論Ⅳ（津川）	
	4		表現論特論Ⅱ（庄司）
金	1		
	2	数理物理学概論Ⅳ（南）	
	3	社会数理概論Ⅱ	
	4	（中村・佐藤・波多野）	

VI-C 就職・同窓会委員会

19年度3月に委員長が同窓の先輩がたと懇談の機会をもち、活動方針を決めた。その際にとくに問題になったのは、会社セミナー、ミニ同窓会への学生の出席率の低さであった。従来通り2月開催では、学生はすでにどの会社に行くか、ターゲットをしぼって活動しており、また講義期間中ではないため出席率が低くなると考えられた。11月または12月開催を検討して、会社の方々と相談のうえ、12月開催に変更した。前年度より参加者も増えた。また、志望会社など決まらない段階でいろいろな会社の説明をきき、その後の懇親会で先輩方にいろいろリラックスした状況で質問ができるなど参加者にとっても好評であった。平成23年3月15日に日本経済団体連合会より、「採用選考に関する企業の倫理憲章」が公表され、「インターネット等を通じた不特定多数向けの情報発信以外の広報活動については、卒業・終了学年前年の12月1日以降に開始する。」と明記されているので、会社セミナー等は12月1日以降開催する、という方針は堅持していく。22年度も12月10日に開催し、会社、学生ともに参加者が増えた。ミニ同窓会は学生が就職活動にはいる前に、実際に社会で活躍されている先輩方と話しをすることにより、視野を広げるために重要な役割を果たしている。更に周知して参加者を増やしたい。

数学の博士の学生の会社への就職は米国、中国では一般的であるが、日本ではまだめずらしい。会社とのインターンシップなどは22年度も検討課題であるが、2名が就職し、活躍しているのは大変喜ばしい。このように博士の採用に積極的な会社も増えているので数年したら博士の学生の就職の状況は劇的に変化する可能性がある。リーマンショック後も、修士卒が欲しいという会社が多い。多元数理科学研究科として、修士、博士といった高度な専門性を持つ社会で活躍できる人材を養成することは急務であると考えられる。

同窓生の尽力による企業との連携による講義も好評である。会社説明会、ミニ同窓会等同窓生の方々のご協力に深く感謝する次第である。

企業セミナー、ミニ同窓会概要

平成22年12月10日(金)

企業研究セミナー 13:00～17:00 (409・509号室ほか)

ミニ同窓会・懇親会 17:30～19:30 (109号室)

プログラム(企業研究セミナー)

13:00～13:35 : 開会 (509号室)

13:50～ : 2会場に分かれて、会社紹介、近況報告等

参加企業数 28/27社 (セミナー/同窓会)

参加学生数 51/39名 (セミナー/同窓会)

企業との連携による講義 (平成22年度)

社会数理概論 I / II

前期	古結 明男	日立オムロンターミナルソリューションズ (株) 経営企画部 担当課長
	田中 祐一	トヨタファイナンス(株) カード本部 カード企画部 事業企画G アソシエイト・マネージャー
	村松 純	日本電信電話(株) NTTコミュニケーション科学基礎研究所 研究主任
後期	佐藤 達雄	(株)アーベルソフト 代表取締役
	中村 俊之	(株)日立製作所 デザイン本部 ブランドデザインセンタ 専門デザイナー
	波多野 祥二	(株)OTSL 代表取締役兼CEO

応用数理特別講義 I / II

前期	石川 一彦	マーサージャパン(株) 年金・財務コンサルティング部門代表
	市川 英彦	(株)NTTドコモ 東海支社 法人営業部 部長
	島 航太郎	トヨタ自動車(株) シャシー開発部 サスペンション機能開発グループ長
	藤本 一文	三菱UFJ証券(株) 研究開発部 課長代理
	岡田 正志	NECソフト(株) アドバイザー・エキスパート
後期	岸本 敏道	(株)日立製作所 RAIDシステム事業部 システム第2設計部第2グループ 技師
	平家 達史	日本銀行名古屋支店 営業課長
	松崎 雅人	東邦冷熱(株) 顧問
	梅崎 太造	名古屋工業大学大学院 教授
	山田 博司	NTTサービスインテグレーション基盤研究所 情報流通トラヒックサービス品質プロジェクト 主幹研究員

統計・情報数理概論 I

前期	原 重昭	(株)保険システム研究所 理事
----	------	-----------------

統計・情報数理特別講義 I

後期	枇杷 高志	あずさ監査法人 パートナー
	渡部 善平	(株)IICパートナーズ シニアコンサルタント